

## ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2003年7月22日

2003年7月20日現在：

7月20日に終わる週の気象は、気温が上昇し降雨の少ない乾燥した気象となった。1週間の州平均農作業日数は6.2日（前週：5.7日）であった。最高気温は88～96度F、南西地区では96～102度Fを記録し、平均気温は平年を1～3度上回った。1週間の降水量は少なく、北西地区（NW）及び北東地区（NE）にて0.46インチ、他の地区は0.08～0.21インチであった。雷雨が各地に発生、北東地区の一部ではソフトボール大の雹が降ったと報告された。土壌水分は前週より更に悪化した。昨年より良い状態を保った。

7月20日現在、硬質春小麦は58%が乳熟期にあり（昨年：61%、平年：58%）、26%が登熟期に入った（昨年：24%、平年：21%）。高温・乾燥が小麦の成熟を早めた。デュラム小麦は55%の圃場にて出穂した（昨年：39%、平年：45%）。デュラム小麦も昨年並びに平年より早い進捗を示しており、全体の12%が登熟期に入った（昨年同期：7%、平年：6%）。両小麦の作柄評価は昨年より良好である。全体として前週より多少下降した。

7月1日付けUSDAの生産量予想が別表の通り発表された。HRSの単位収量は昨年産HRSに比し凡そ3割増の36.0 bushels/acre（昨年：28.0bu/a）で、収穫面積も増加したことより、生産量予想は昨年の37.3%増の226,800,000 bushelsである。

土壌水分：

Topsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	5	21	64	10
Last week (%)	5	14	68	13
Last year (%)	19	25	53	3
Average (%)	5	15	71	9

Subsoil

This week (%)	6	19	65	10
Last week (%)	5	16	67	12
Last year (%)	20	24	53	3
Average (%)	5	13	71	11

Average: 1998～2002年平均

次頁へ：

小麦進捗状況 :

	This week	Last week	Last year	5-year avg.
<u>Durum</u>				
Jointing (%)	98	90	99	97
Boot (%)	88	74	84	85
Headed (%)	69	55	69	69
Milk (%)	36	23	26	29
Turning (%)	12	2	7	6

Milk : 乳熟期 , Turning=Turning color: 登熟期~枯熟期

小麦進捗状況 :

	This week	Last week	Last year	5-year avg.
<u>HRS wheat</u>				
Boot (%)	97	91	96	94
Headed (%)	88	78	90	87
Milk (%)	58	43	61	58
Turning (%)	26	6	24	21

小麦作柄状況 :

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Durum wheat (%)	1	3	20	66	10
HRS Wheat (%)	1	4	19	57	19

Source: North Dakota Agricultural Statistics Service

7月1日付けUSDA春小麦の生産量予想 :

	Harvested Area 1000 Acres		Yield Bushels/Acre		Production 1000 Bushel			
	2002	2003	2002	2003		2001	2002	2003
				June 1	July 1			
Durum W	1,950	1,850	25.0	-	29.0	54,600	48,750	53,650
H R S	5,900	6,300	28.0	-	36.0	234,600	165,200	226,800

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃: E-mail [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)